

令和5年度 第2回教育研究評議会議事要録

日時 令和5年5月11日(木) 13:30~15:07
場所 Teams(オンライン)開催
出席者 太田学長、久留主理事・副学長(総括理事・教育)、佐川理事・副学長(学術・企画・評価)、井上理事(総務・財務)・事務局長、鳥羽田理事(社会連携・基金運営)、菊池理事(ダイバーシティ・国際・SDGs)、金野副学長(研究・産学官連携)、増澤副学長(大学院改革・広域連携)、原口人文社会科学部長、野崎教育学部長、岡田理学部長、乾工学部長、宮口農学部長、福與新教育組織(学士課程)設置準備室長、羽瀧図書館長、西川全学教育機構長、井上評議員、高橋評議員、瀧澤評議員、上地評議員、下村評議員、田内評議員、鎌田評議員、横木評議員、大久保評議員、井上評議員、安評議員
監事監査規則第9条第2項に基づく出席者 人見監事、浅見監事

議 題

審議事項

- 1 茨城大学名誉教授候補者の選考について

報告事項

- 1 第3期中期目標期間終了時評価結果(教育研究等(NIAD)業務運営・財務内容等(MEXT))について
- 2 令和5年度(2023年度)茨城大学監事監査計画について
- 3 「国立大学法人茨城大学における防犯カメラの管理及び運用に関する要領」第13条に基づく報告
- 4 ChatGPT等の生成系AI利用についての注意喚起
- 5 グリーンイノベーション基金事業について
- 6 令和5年度全学教育機構兼務教員について
- 7 令和5年度フロンティア応用原子科学研究センター兼務教員について

議 事 概 要

I 審議事項(○:構成員 ●:報告者、事務局等)

- 1 茨城大学名誉教授候補者の選考について

学長から、茨城大学名誉教授候補者の選考について、資料1に基づき審議願いたい旨の提案があった。次いで、人事労務課長から規程や選考方法等について、各所属長から候補者の推薦理由について説明があり、Web投票の結果、候補者19名全員への名誉教授称号授与が了承された。また学長から、名誉教授称号授与式を6月に開催予定であることが案内された。

II 報告事項

- 1 第3期中期目標期間終了時評価結果(教育研究等(NIAD)業務運営・財務内容等(MEXT))について
大学戦略・IR室長から、第3期中期目標期間終了時評価結果(教育研究等(NIAD)業務運営・財務内容等(MEXT))について、資料2に基づき報告があった。
- 2 令和5年度(2023年度)茨城大学監事監査計画について
人見監事から、令和5年度(2023年度)茨城大学監事監査計画について、資料3に基づき報告があった。

3 「国立大学法人茨城大学における防犯カメラの管理及び運用に関する要領」第13条に基づく報告

施設課長から、「国立大学法人茨城大学における防犯カメラの管理及び運用に関する要領」第13条に基づく報告、資料4に基づき報告があった。

【主な意見】

○：防犯カメラの映像提供について、各キャンパスにて対応するのではなく、危機管理部署等において一括して把握し対応すべきではないか。

●：方針を要領にて定めており、要領に基づき各キャンパスにて判断をし、対応をすることとしている。

○：要領は教育研究評議会での共有はなされていないと思うが、各キャンパスには情報共有されているのか。

●：要領は昨年度財務施設委員会にて決定しているため、部局長の了承を得ており、各キャンパスでの情報共有もされている。

●防犯カメラ映像の提供に係る対応の流れについては、整理した上で改めてご報告する。

4 ChatGPT等の生成系AI利用についての注意喚起

学務企画課長から、ChatGPT等の生成系AI利用についての注意喚起、資料5に基づき報告があった。

【主な意見】

○：実施する内容に異論はないが、文章は正確な記載にしていきたい。

●：再度確認をする。

○：文中に、授業担当教員から生成系AIの利用範囲・方法等について指定・制限があった場合には、その指示に従うとあるが、利用について個々の教員の判断に任せるというようにも読み取れる。明確な方針が決まっていない状況は、教職員も困ってしまう。方針を検討中なのであれば、方針が決まるまでは一時的に使用を控える等、保留状態とする旨の通知を出しても良いのではないか。

●：現在文部科学省でも検討中であり、本学としても方針を決めかねている。状況は変化が激しく、通知を出すタイミングによって内容が変わることが想定される。学生の教育の質の保証という観点から、教育改革推進委員会で検討を進めたい。

5 グリーンイノベーション基金事業について

農学部長から、グリーンイノベーション基金事業について、資料6に基づき報告があった。

6 令和5年度全学教育機構兼務教員について

全学教育機構長から、令和5年度全学教育機構兼務教員について、資料7に基づき報告があった。

7 令和5年度フロンティア応用原子科学研究センター兼務教員について

フロンティア応用原子科学研究センター長から、令和5年度フロンティア応用原子科学研究センター兼務教員について、資料8に基づき報告があった。

III 監事からの意見

・ChatGPT等の業務利用については、自治体によっても全面禁止や、個人情報に注意しながら活用する等対応は様々である。本学における業務利用の扱い方について、検討を進めていきたい。

IV その他

- ・工学部長から、国立研究開発法人科学技術振興機構の次世代人材育成事業「女子中高生の理系進路選択プログラム」への採択報告があった。

会議資料の公開について

資料1は非公開

次回 教育研究評議会開催

6月8日(木) 9時30分から